

保健体育科学習指導案

日 時 平成26年6月5日(木) 公開授業 I
学 級 岩手大学教育学部附属中学校
2年 A組 39名(男子19名女子20名)
会 場 体育館
授業者 高 橋 走

1 単元名 ダンス

2 単元について

(1) 生徒観

「ダンス」の授業を行うのは今回が初めてである。事前アンケートで、「運動することが好きか」と尋ねたところ、「好き、どちらかといえば好き」と8割近い数の生徒が回答した。ダンスに対する意識調査では、4割の生徒が、「好き、どちらかといえば好き」と回答したが、反対に「どちらかといえば嫌い、嫌い」と否定的な回答をした生徒が5割と恥ずかしさや苦手と感している生徒が多い。また、対象の生徒は、2年生に進級しクラス替えを経て、まだまだお互いをよく分からない状態で生活し、その緊張感が伺える。この緊張感を緩和しながら、いかにダンスの特性を味合わせていくかが重点となってくる。

(ダンス)

好 き	どちらかといえば好き	どちらかといえば嫌い	嫌 い
16%	28%	36%	20%

(2) 教材観

ダンスは、「創作ダンス」、「フォークダンス」、「現代的なリズムのダンス」で構成され、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流を通して仲間とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する運動で、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現したりすることに楽しさや喜びを味わうことのできる運動である。

「創作ダンス」は、イメージとらえ、即興的な表現や、変化のあるひとまとまりの表現で踊る、「フォークダンス」は、伝承されてきた踊りの特徴をとらえ、音楽に合わせてみんなで交流して踊る、「現代的なリズムのダンス」は、リズムの特徴をとらえ、変化のある動きを組み合わせ、全身で自由に弾んで踊る、といった魅力がある。これらの特性を味わうために、伸び伸びと自分を表現できる場の雰囲気大切に、思いを言葉で伝え合い、互いを認め合う態度の育成を図る授業展開を工夫していきたい。

ダンスの授業を通して、仲間にも認められてきたという感情から自己受容感の高まりも期待できる。その高まりが、「やってみよう」という意欲につながり、事前アンケートで否定的な回答をした割の生徒も学びの多い単元になるよう指導展開していきたい。

(3) 学びの自覚化について

保健体育科における「学びの自覚化」とは、「動きの変容を自覚すること」ととらえる。「動きの変容を自覚する手段」は以下の3点とする。

- ① 動きがめざす動きと比べてどうなのか把握する
- ② 仲間とのコミュニケーションから動きを把握する
- ③ 動きの変容をことばで書き出す

学びの自覚化を促す手立ては以下の通りである。

(1) 動きの比較

①については学習者が画像や映像で瞬時に自分やチームの動きを客観的に見ることで「動きの変容の自覚」を図る。

(2) 仲間とのコミュニケーション

②についてはグループで動きの観察を行い、賞賛、よさを認め合う、教え合うことで「動きの変容の自覚」を図る。この「動きの自覚」ができることで既習事項の「ポイント」をより自分がわかりやすい表現で伝えることが可能になってくる。この自分のわかりやすい表現が「コツ」にもつながってくる。

(3) 学びの振り返り

③については単元を通して、授業の振り返りとして成果や課題を記入していくことで、その時間の学びを確認させるとともに、単元を通しての変容も自分で把握できるようにさせる。

(1) 動きの比較

自分やグループの動きを iPad などを利用して客観的に観察させる。

(2) 他者との伝え合い

毎時間のペアやグループでの交流会で、互いのよさを認め合い、肯定的なかかわりがきるように、雰囲気大切に授業を進める。

(3) 学びの振り返り

その時間の振り返りにより、自分の学び（学んだこと、わからなかったこと、できたこと、できなかったこと）やかかわり合いを把握し、次時への意欲につなげる。教師側は、個々の学習状況を把握し、フィードバックする際の資料とする。

3 単元の指導目標及び評価規準

(1) 指導目標

創作ダンス、フォークダンス、現代的なリズムのダンスでは、感じを込めて踊ったりみんなで踊ったりする楽しさや喜びを味わい、イメージをとらえた表現や踊りを通じた交流ができるようにする。

(技能)

ダンスに積極的に取り組むとともに、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に気を配ることができるようにする。(態度)

ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解し、課題に応じた運動の取り組み方を工夫できるようにする。(知識、思考・判断)

(2) 評価規準

① ダンスの楽しさや喜びを味わうことができるよう、よさを認め合おうとすること、分担した役割を果たそうとすることなどや、健康・安全に留意して、学習に積極的に取り組もうとしている。

【運動への関心・意欲・態度】

② ダンスを豊かに実践するための学習課題に応じた運動の取り組み方を工夫している。

【運動についての思考・判断】

③ ダンスの特性に応じて、交流ができるよう、イメージを捉えた表現や踊りをするための動きを身に付けている。

【運動の技能】

④ ダンスの特性、踊りの由来と表現の仕方、関連して高まる体力などを理解している。

【運動についての知識・理解】

4 単元の指導計画・評価計画

(1) 指導計画（14時間）

時数	学習内容	活動内容
1	○ダンスは、仲間とともに感じを込めて踊ったり、イメージをとらえて自己を表現することを楽しむことや喜びを味わうことのできる運動であること、他者とのコミュニケーションを豊かにすることを重視する身体表現であること。(知識) ○健康・安全に留意すること。(態度)	・ダンスの特性について学習シートに記入する。 ・ダンスの授業のねらいや約束、学習計画、学習シートの説明から理解する。 ・ウォーミングアップとして行うさまざまなステップを確認する。
2	○仲間の学習を援助することは、自己の能力を高めたり、仲間との連帯感を高めて気持ちよく活動することにつながったりすること(態度)	・アップダンス、ストレッチを行う。 ・簡単なリズムのダンスに取り組む。
3	○バージニア・リール(アメリカ)などの隊形を組む踊りでは、列の先頭のカップルに動きを合わせて踊ること(技能) ○ダンスは、リズムカルな全身運動であることから、その動きに関連した体力が高まること。(知識)	・アップダンス、ストレッチを行う。 ・資料やVTRを見て、まねしてフォークダンスに取り組む。 ・教師の模範とともに、外国のフォークダンスに積極的に取り組む。 ・ダンスに関連して高まる体力について学習シートに記入する。

4	○仲間や他のグループの発想や動きのよさに声をかけるなど、互いに認め合って学習することで、お互いの運動意欲が高まること（態度）	<ul style="list-style-type: none"> ・グループで声を出しアップダンスに取り組む。 ・グループでポイントを理解し、取り組む。 ・日本の民踊に積極的に取り組む。 ・ペアグループで見せ合う。（iPad撮影）
5	○踊りは、民族ごとの生活習慣や心情が反映されていることや、様々な文化の影響を受け発展してきたこと。（知識）	<ul style="list-style-type: none"> ・難しい踊り方を取り出して、全体で確認する。 ・踊りの由来について学習シートに記入する。
6	○「現代的なリズムのダンス」① 自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ること。（技能）	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴を学習シートにまとめる。 ・1人で、ペアで、いろいろなリズムに乗って自由に弾んで楽しく踊る。
7	○「現代的なリズムのダンス」② 軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたき、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたり、ずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ること。（技能）	<ul style="list-style-type: none"> ・リズムに乗って全身で踊る。 ・小グループでリズムに乗って自由に弾んで楽しく踊る。
8	○「現代的なリズムのダンス」③ 相手の動きに合わせてたり、ずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ること。（技能） ○人には誰でも学習によって技能が向上する可能性があること。（態度）	<ul style="list-style-type: none"> ・1人で、ペアで、変化のある動きを組み合わせるリズムに乗って続けて踊る。
⑨	○「現代的なリズムのダンス」④ ○仲間のよい動きや表現などを指摘すること。（思考・判断）	<ul style="list-style-type: none"> ・小グループで、変化のある動きを組み合わせるリズムに乗って続けて踊る。 ・仲間のよい動きや表現などについて学習ノートに記入する。 ・iPadで撮影し、仲間のよいところを見付ける。
10	○創作ダンス① テーマA 身近な生活や日常動作「働く人々」 日常動作を大げさに表現すること。（技能）	<ul style="list-style-type: none"> ・特徴を学習シートにまとめる。 ・スローモーションで誇張したり、何回も繰り返したりして表現する。
11	○創作ダンス② テーマB 対極の動きの連続「走る－止まる」 変化のある動きを連続させて踊ること。（技能）	<ul style="list-style-type: none"> ・変化や連続の動きを組み合わせる表現する。（走る－止まる、伸びる－縮む）
12	○創作ダンス③ テーマE ものを扱う「ゴムを使って」 新しい動きを発見し緩急強弱を付けて踊ること。（技能）	<ul style="list-style-type: none"> ・ものを何かに見立ててイメージをふくらませて表現する。（新聞紙、布、ゴム）
13	○創作ダンス④ ○分担した役割を果たすことは、練習や発表会を円滑に進めることにつながることや、社会生活を過ごす上での必要な責任感を育てることにつながる（態度） ○学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめること。（思考・判断）	<ul style="list-style-type: none"> ・練習などを行う際に、音響や小道具などの準備や後片付けなどの分担した役割に積極的に取り組もうとする。 ・安全上の留意点について学習ノートに記入する。
14	○表したいイメージをひと流れの動きにして表現する、伝承されてきた踊りの特徴をとらえて踊る、軽快なリズムに乗って全身で弾みながら自由に踊るなどの身体を使った表現の仕方があること。（知識）	<ul style="list-style-type: none"> ・発表会や交流会で発表・交流し合う。（iPad撮影） ・表現の仕方について学習ノートに記入する。

(2) 評価計画

	運動への関心・意欲・態度	運動についての思考・判断	運動の技能	運動についての知識・理解
1				○ダンスの特性について、学習した具体例を挙げている。
2	○健康・安全を留意している。			
3				○ダンスに関連して高まる体力について、学習した具体例を挙げている。
4	○仲間の学習を援助しようとしている。			
5			○バージニア・リール（アメリカ）などの隊形を組む踊りでは、列の先頭のカップルに動きを合わせて踊ることができる。	○踊りの由来について、学習した具体例を挙げている。
6	○互いのよさを認め合おうとしている。			
7			○自然な弾みやスイングなどの動きで気持ちよく音楽のビートに乗れるように、簡単な繰り返しのリズムで踊ることができる。	
8			○軽快なリズムに乗って弾みながら、揺れる、回る、ステップを踏んで手をたたき、ストップを入れるなどリズムを捉えて自由に踊ったり、相手の動きに合わせてたり、ずらしたり、手をつなぐなど相手と対応しながら踊ることができる。	
9 本時		○仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。		
10	○ダンスの学習に積極的に取り組もうとしている。			

11			○一番表したい場面や動きを、スローモーションの動きで誇張したり、何回も繰り返したりして表現することができる。	
12			○「走る－跳ぶ－転がる」などをひと流れでダイナミックに動いてみてイメージを広げ、変化や連続の動きを組み合わせる表現することができる。	
13		○学習した安全上の留意点を仲間と学習する場面に当てはめている。	○ものを何かに見立ててイメージをふくらませ、変化のある簡単なひとまとまりの表現にして踊ったり、場面の転換に変化を付けて表現したりすることができる。	
14	○分担した役割を果たそうとしている。			○表現の仕方について、学習した具体例を挙げている。

5 本時について（9/14時間）

(1) 主 題 ダンス 「現代的なリズムのダンス」

(2) 指導目標

○仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘することができるようにする。

(運動についての思考・判断)

(3) 評価規準

仲間との交流の場面では、互いの違いやよさを指摘している。【運動についての思考・判断】

(4) 指導の構想

「ナイス・ドンマイ・ハイタッチ」の声かけを中心として、明るくみんなで楽しむ雰囲気を保ち、一人一人の運動量の多い授業を展開したい。また、教師からも肯定的な言葉をかけ続け、積極的にダンスにチャレンジする意欲がわき出るようにしたい。

導入では、音楽に合わせた体操、アップダンスで、ダンスの基本動作を反復し、授業のリズムをつくる。展開では、教師と共に楽しい雰囲気で、ロック、ヒップホップのリズムの特徴をとらえて踊る。次に変化のある動きを組み合わせ続けて踊る。「じゃんけんダンスで楽しく」という、足じゃんけんを使って、ペアの動き、そしてグループへと展開したい。最後にグループで交流し合い（ダンスバトル）、兄弟グループから、よい点を伝え合えるようにしたい。その際、iPadの映像も使いながら、グループの良さがフィードバックしやすいようにしたい。まとめでは、本時の成果と課題を、グループ、個人で確認させ、次時につなげたい。

(5) 本時の展開

段階	学習活動および学習内容	時間 (分)	■「学びの自覚化」とのかかわり
導入	1 集合, あいさつ, 健康観察をリーダー中心に, 協力して行う。 2 準備運動を行う。 (1) 体操 (音楽に合わせて) (2) ウォーミングアップダンス (ダンスメドレー) ①あんたがたどこさ ②十五夜さんの餅つき ③ポーカークフェイス ④さんさ踊り ⑤バージニア・リール (フォークダンス)	15	
展開	3 課題把握と評価項目を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>○ダンスバトルで仲間のよい点を見付けよう。</p> <p>○簡単なリズムのとり方や動きで, 音楽のリズムに同調したり, 体幹部を中心としたシンプルに弾む動きで自由に踊ったりすることができる。</p> </div> 4 ロック, ヒップホップの特徴をとらえて教師と一緒に踊る。 → (キーワード) 「弾み」「縦のり」「回る」 「ストップ」「大きさ (大げさ)」 「スイング」「アフタービート」等 (1) ロックの弾みやヒップホップの縦のりの動きで, リズムに乗って全身で踊る。 (2) リズムを感じ, その曲に乗れる動きを選択して自由に踊る 5 変化のある動きをペアで組み合わせて続けて踊る。 (1) ペアで向かい合い, 「ジャンケンポン」でリーダーを決め, 動きの真似をする。 (2) ペアとペアでグループを組み, リーダーを決め, 交換して, それぞれの動きの真似をする。 ◎【観察評価】を行う。 6 グループでダンスを踊り合う。(ダンスバトル) (1) 1VS1 (2) 4VS4 ◎生徒の具体の学びの姿から, 実現状況を判断する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 5px 0;"> <p>【I P a d 撮影】</p> <p>★見る視点=キーワード「弾み」「縦のり」「回る」「ストップ」「大きさ (大げさ)」「スイング」「アフタービート」等の動きを表現できているか</p> </div>	28	■振り返りで確認したポイントが今日の動きに意識されているか把握する。 【技能ポイントの把握】 ■仲間の動きを見て, よい点を伝え合う。 【よさを認め合う】
終結	7 本時のまとめを行う。 (1) ダンスの様子, iPadの映像をもとに仲間同士で課題の確認を行い, 本時の授業記録をまとめる。 (2) 学習の成果や課題などのまとめを発表する。 (3) 教師の評価を聞く。 8 整理運動 9 あいさつ	7	■この時間の成果, 課題を把握する。 【学びの振り返り】